

平成 26 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 89 回〔三級自動車シャシ〕

平成 27 年 1 月 18 日

31 問題用紙

受験番号	受験地	回数	種類	番号	氏名	※
		8 9	3 1			

※試験説明で
指示された
者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入しなさい。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入しなさい。ただし、思考席では記入しないこと。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行って下さい。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話、PHS 等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話、PHS 等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係する者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3 年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある回路ボード(リレー回路)及びバッテリーについて、次の各問に答えなさい。
また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 デジタル・サーキット・テスタを用いて、電源スイッチを操作したときのリレー回路の励磁コイルの電圧を測定し、測定値を該当欄に小数点以下第 1 位まで(小数点第 2 位以下を切り捨て)記入しなさい。

測定端子	スイッチ	測定結果
5—6 間	OFF	V
	ON	V

問 2 アナログ・サーキット・テスタを用いて、電源スイッチを操作したときのリレー回路の端子間の抵抗を測定し、測定値を該当欄に小数点以下を切り捨てて記入しなさい。

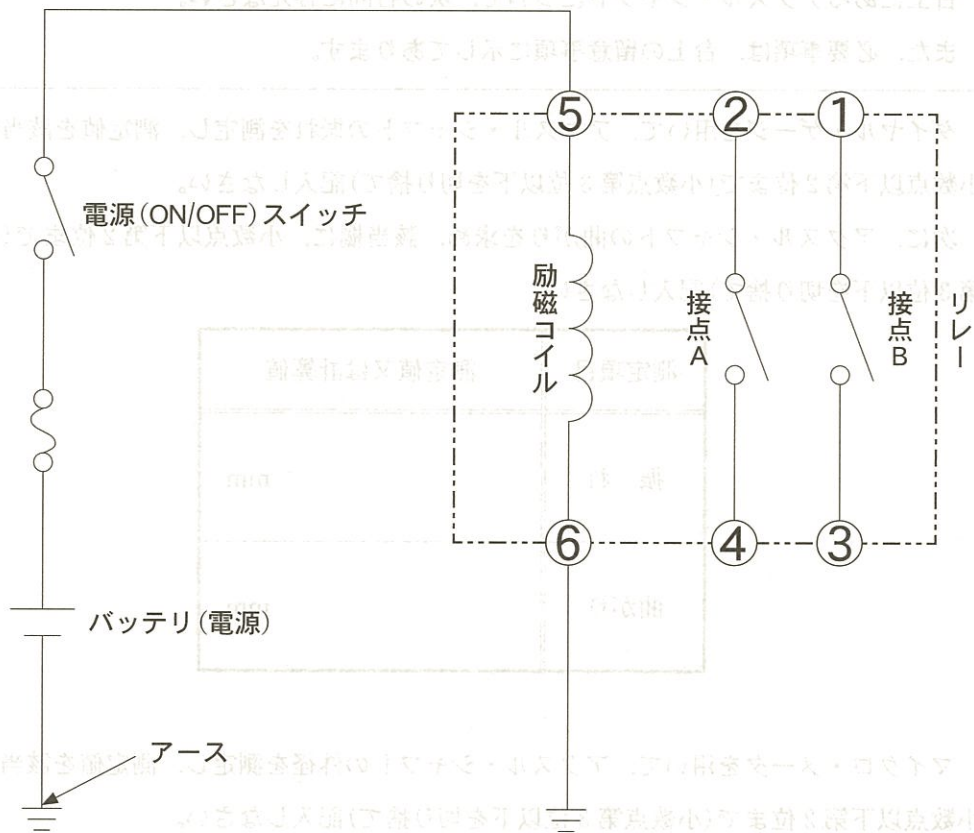
次に、測定結果について、留意事項からそれぞれの良否を判定し、該当欄の良・否の何れかを○印で囲みなさい。

測定端子	スイッチ	測定結果	良否判定
2—4 間 (接点 A)	OFF	Ω	良・否
	ON	Ω	
1—3 間 (接点 B)	OFF	Ω	良・否
	ON	Ω	

問 3 デジタル・サーキット・テスタ及び比重計を用いて、バッテリーの端子電圧及び比重を測定し、測定値を該当欄に記入しなさい。ただし、端子電圧については、小数点以下第 1 位まで(小数点第 2 位以下を切り捨て)、比重については小数点以下第 2 位まで(小数点第 3 位以下を切り捨て)とする。

測定項目	測定値
端子電圧	V
比重	

〈リレーの回路図〉



※リレーの励磁コイルに通電すると、接点 A と B が共に閉じる。

問題 2 台上にあるアクスル・シャフトについて、次の各問に答えなさい。

また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 ダイヤル・ゲージを用いて、アクスル・シャフトの振れを測定し、測定値を該当欄に、小数点以下第 2 位まで(小数点第 3 位以下を切り捨て)記入しなさい。

次に、アクスル・シャフトの曲がりを求め、該当欄に、小数点以下第 2 位まで(小数点第 3 位以下を切り捨て)記入しなさい。

測定項目	測定値又は計算値
振 れ	mm
曲がり	mm

問 2 マイクロ・メータを用いて、アクスル・シャフトの外径を測定し、測定値を該当欄に、小数点以下第 2 位まで(小数点第 3 位以下を切り捨て)記入しなさい。

測定項目	測 定 値
外 径	mm

問題 3 台上にある 2 速ギヤ、シンクロナイザ・リング、スリーブ、及びシフト・フォークについて、次の各問に答えなさい。

また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 シックネス・ゲージを用いて、2 速ギヤとシンクロナイザ・リングのすき間を複数箇所測定し、測定値は最小値を小数点以下第 2 位まで該当欄に記入しなさい。

測定項目	測定値
2 速ギヤとシンクロナイザ・ リングのすき間	mm

問 2 マイクロ・メータを用いて、シフト・フォークの爪の幅をそれぞれの指定箇所測定し、測定値を該当欄に、小数点以下第 2 位まで(小数点第 3 位以下を切り捨て)記入しなさい。

次に、スリーブとシフト・フォークのすき間を計算し、その値を小数点以下第 2 位まで記入しなさい。

なお、スリーブの溝の幅は 12.00 mm とし、シフト・フォークの爪の幅は赤線側の測定値を用いて計算すること。

測定項目	測定値又は計算値	
スリーブの溝の幅	12.00	mm
シフト・フォークの爪の幅	赤線側	mm
	青線側	mm
スリーブとシフト・フォーク のすき間	mm	